

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

Ver11.0 から Ver12.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver12.0 2 Ver12.0 (H14.10.8)

(追加・改良)

- (1) COM 機能「IpcPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
 - ・ GetSimulationNo
現在選択しているシミュレーション (0(M)、1(S1)、2(S3)、3(S3)) を返します。
- (2) COM 機能「IpcField」へ以下のメソッドを追加
 - ・ GetWidth
フィールドの幅を返します。
- (3) COM 機能「IpcField」へ以下のメソッドを追加
 - ・ SetWidth IWidth
フィールドの幅を IWidth に設定します。
- (4) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ GetHeight
レコードの高さを返します。
- (5) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ SetHeight IHeight
レコードの高さを IHeight に設定します。
- (6) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ GetCellColorNo INo
INo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で設定したセルの背景色 No を返します。
- (7) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ SetCellColorNo INo IColorNo
INo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で設定したセルの背景色を IColorNo に設定します。
- (8) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ GetCellMeshNo INo
INo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で設定したセルの網掛け No を返します。
- (9) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ SetCellMeshNo INo IMeshNo
INo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で設定したセルの網掛けを IMeshNo に設定します。
- (10) COM 機能「IpcRecord」へ以下のメソッドを追加
 - ・ SetCellPropertyNo INo IColorNo IMeshNo

INo (ゼロ基底、フィールド番号 - 1) で設定したセルの背景色を IColorNo に、
網掛けを IMeshNo に設定します。

(11) PlanWizard.tlb ファイルを添付します。

Ver12.0 1 Ver12.0 2 (H14.10.4)

(追加・改良)

- (1) 工場カレンダーウィンドウからの「再作成」コマンド実行時のダイアログボックスのインターフェースに個別管理リソースの欄を追加
- (2) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「シリーズ作成後、プロパティコピー(中間体名称 シリーズ名称)を実行する」
「Yes」に設定するとシリーズ作成後、プロパティコピーを実行します。
- (3) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「ロット作成後、プロパティコピー(中間体名称 ロット名称)を実行する」
「Yes」に設定するとロット作成後、プロパティコピーを実行します。

Ver12.0 Ver12.0 1 (H14.9.30)

(追加・改良)

- (1) コメントで設定したワークセンタ/リソースをスケジューリング時、設備を補足した場合にワークセンタ/リソースを補足するようにした。
ただし、コメントでは、個別管理リソースの補足は対応できません。
ワークセンタ及び、リソースの場合は、コメントの開始から、終了までの全ての時間(夜間なども含む)が補足対象となります。
- (2) コメントへ「タイプ」フィールドを追加
選択肢は、手動/自動/自動固定です。通常は、「手動」に設定して下さい。
「自動」は、PlanWizard がスケジューリング時、自動でコメントの発生/削除を制御します。

「ホスト - コメント情報取込/転送」コマンドのインターフェース書式が変更になります。

- (3) コメントのワークセンタ、リソースを補足するようにした。
ただし、設備補足フィールドを「する」にしていないと補足されません。
- (4) コメントの「設備補足」フィールドの選択肢の変更
現状(しない/する) 新規(しない/する(Type1)/する(Type2))
現在の選択肢(する)は、新選択肢の(する(Type1))になります。
しばらくは、新選択肢(する(Type2))は選択しないで下さい。
- (5) 設備マスターへ「定期切替フラグ」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (6) 設備マスターへ「定期切替連続ロット数」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。

- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (7) 設備マスターへ「定期切替連続生産時間」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (8) 設備マスターへ「定期切替コメント」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (9) 設備マスターへ「定期切替時間」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (10) 設備マスターへ「定期切替ワークセンタ」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (11) 設備マスターへ「定期切替人数」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。
- (12) 設備マスターへ「定期切替リソース」フィールドを追加
詳細は添付資料を参照して下さい。
- 「前切替タイプ」フィールドの前へ挿入しました。

Ver11.350 Ver11.365 (H14.9.17)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートの同時生産のロットの移動の方法の変更(追加)
もともと同時生産されているものを一括して(まとめて)移動できるようになった。
詳細は、添付資料を参照して下さい。
- (2) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ「ジャンプ - グラフ」ポップアップ
メニューを追加
- (3) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 設備稼働率グラフ」
選択している設備の設備稼働率グラフを表示します。
- (4) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 生産量グラフ」
選択しているオーダーに関連する生産量グラフを表示します。
- (5) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 生産量累計グラフ」
選択しているオーダーに関連する生産量累計グラフを表示します。
- (6) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 消費量グラフ」
選択しているオーダーに関連する消費量グラフを表示します。
- (7) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加

- 「ジャンプ - グラフ - 消費量累計グラフ」
選択しているオーダーに関連する消費量累計グラフを表示します。
- (8) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 在庫量グラフ」
選択しているオーダーに関連する在庫量グラフを表示します。
- (9) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 待ち時間グラフ」
選択しているオーダーに関連する待ち時間グラフを表示します。
- (10) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - 納期遅れグラフ」
選択しているオーダーに関連する納期遅れグラフを表示します。
- (11) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下を追加
「ジャンプ - グラフ - リードタイムグラフ」
選択しているオーダーに関連するリードタイムグラフを表示します。

Ver11.337 Ver11.350 (H14.9.10)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他」へコマンドを追加
「プロパティコピー - プロパティコピー (原材料名称 発注名称)」
原材料マスターの原材料名称フィールドのプロパティを MRP リストの
発注フィールドのプロパティへコピーします。
- (2) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_MATERIAL_MRP」を追加
書式：PROPERTY_COPY_MATERIAL_MRP
「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー
(原材料名称 発注名称)」コマンドを実行します。
- (3) 「初期設定」へ「プロパティコピー」タブを追加
- (4) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「受注情報取込後、プロパティコピー(製品名称 受注名称)を実行する」
「Yes」に設定すると受注情報取込後、プロパティコピーを実行します。
- (5) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「製品在庫リスト更新後、プロパティコピー(製品名称 製品名称 x LotNo)を実行する」
「Yes」に設定すると製品在庫リスト後、プロパティコピーを実行します。
- (6) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「オーダー取込後、プロパティコピー(製品名称 オーダー名称)を実行する」
「Yes」に設定するとオーダー取込後、プロパティコピーを実行します。
- (7) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「オーダー作成後、プロパティコピー(製品名称 オーダー名称)を実行する」
「Yes」に設定するとオーダー作成後、プロパティコピーを実行します。
- (8) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「下位 オーダー後、プロパティコピー(製品名称 オーダー名称)を実行する」

- 「Yes」に設定すると下位 オーダー後、プロパティコピーを実行します。
- (9) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「MRP 作成後、プロパティコピー(原材料名称 発注名称)を実行する」
「Yes」に設定すると MRP 作成後、プロパティコピーを実行します。
- (10) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「原材料在庫取込後、プロパティコピー(原材料名称 原材料名称×LotNo)を実行する」
「Yes」に設定すると原材料在庫取込後、プロパティコピーを実行します。
- (11) 「初期設定」の「プロパティコピー」タブへ以下を追加
「上位 原材料後、プロパティコピー(原材料名称 原材料名称×LotNo)を実行する」
「Yes」に設定すると上位 原材料後、プロパティコピーを実行します。

Ver11.323 Ver11.335 (H14.9.6)

(追加・改良)

- (1) 以下のマクロコマンドのコマンド名の変更

(現)PROPERTY_COPY_PRODUCT (新)PROPERTY_COPY_PRODUCT_MIDDLE

(現)PROPERTY_COPY_GROUP (新)PROPERTY_COPY_GROUP_MIDDLE

(現)PROPERTY_COPY_PROCESS (新)PROPERTY_COPY_PROCESS_MIDDLE

- (2) マクロコマンド「SCHEDULE_VALUE_PRINT」を追加

書式: SCHEDULE_VALUE_PRINT

「スケジュールリング - 割付評価表示」コマンドを実行します。

- (3) マクロコマンド「PROTECT_KEY_NO_PRINT」を追加

書式: PROTECT_KEY_NO_PRINT

「ユーティリティ - その他 - プロテクトキー番号の確認」コマンドを実行します。

- (4) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_PRODUCT_MATERIAL」を追加

書式: PROPERTY_COPY_PRODUCT_MATERIAL

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー

(製品名称 原材料名称)」コマンドを実行します。

- (5) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_PRODUCT_RECEIVE」を追加

書式: PROPERTY_COPY_PRODUCT_RECEIVE

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー

(製品名称 受注名称)」コマンドを実行します。

- (6) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_PRODUCT_ORDER」を追加

書式: PROPERTY_COPY_PRODUCT_ORDER

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー

(製品名称 オーダー名称)」コマンドを実行します。

- (7) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_MIDDLE_SERIES」を追加

書式: PROPERTY_COPY_MIDDLE_SERIES

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー

- (中間体名称 シリーズ名称)」コマンドを実行します。
- (8) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_MIDDLE_LOT」を追加
書式：PROPERTY_COPY_MIDDLE_LOT
「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー
(中間体名称 ロット名称)」コマンドを実行します。
- (9) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_PRODUCT_STOCK」を追加
書式：PROPERTY_COPY_PRODUCT_STOCK
「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー
(製品名称 製品名称 × LotNo)」コマンドを実行します。
- (10) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_MATERIAL_STOCK」を追加
書式：PROPERTY_COPY_MATERIAL_STOCK
「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー
(原材料名称 原材料名称 × LotNo)」コマンドを実行します。
- (11) マクロコマンド「READ_MASTER_PROPERTY」を追加
書式：READ_MASTER_PROPERTY
「ユーティリティ - ホスト - マスタープロパティ取込」コマンドを実行します。
- (12) マクロコマンド「WRITE_MASTER_PROPERTY」を追加
書式：WRITE_MASTER_PROPERTY
「ユーティリティ - ホスト - マスタープロパティ転送」コマンドを実行します。

Ver11.315 Ver11.323 (H14.8.28)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他」へ「プロパティコピー」ポップアップウィンドウ追加
- (2) 「ユーティリティ - その他」へコマンドを追加
「プロパティコピー - プロパティコピー (製品名称 製品名称 × LotNo)」
製品マスターの製品名称フィールドのプロパティを製品在庫リストの
製品名称 × LotNo フィールドのプロパティへコピーします。
- (3) 「ユーティリティ - その他」へコマンドを追加
「プロパティコピー - プロパティコピー (原材料名称 原材料名称 × LotNo)」
原材料マスターの原材料名称フィールドのプロパティを原材料在庫リストの
原材料名称 × LotNo フィールドのプロパティへコピーします。
- (4) 「ユーティリティ - その他」へコマンドを追加
「プロパティコピー - プロパティコピー (製品名称 原材料名称)」
製品マスターの製品名称フィールドのプロパティを原材料マスターの
該当する半製品の原材料名称フィールドのプロパティへコピーします。
- (5) 「ユーティリティ - ホスト - マスタープロパティ取込」コマンドを追加
規定ファイルから規定書式でマスターのプロパティを読み込みます。
書式は、(6) コマンドを実行して実際のファイルを参照下さい。
- (6) 「ユーティリティ - ホスト - マスタープロパティ転送」コマンドを追加
規定ファイルへ規定書式でマスターのプロパティを書込みます。

規定ファイルは、Text¥Master フォルダの中に作成されます。
ファイル名称は、「P_*****.txt」(「*****」はマスター名称が入ります。)
プロパティ変更可能なフィールドのみ転送されます。
書式は以下の通りで1レコード1行となります。
データ<Tab>色番号(0~63)<Tab>パターン番号(0~6)...<CR><LF>

Ver11.308 Ver11.315 (H14.8.19)

(追加・改良)

(1) 初期設定の「その他6」タブへ以下を追加

「ロットの原材料情報の再計算&ロットの実績ステータス」

ロットの実績ステータスにより、ロットの原材料情報再計算を制御します。

選択肢は4つあります。(「常に再計算する」、「確定以上で再計算しない」、

「着手以上で再計算しない」、「完了以上で再計算しない」)

原材料在庫引当て情報の履歴を管理したい場合は、原材料在庫引当てリストで
該当するレコードのステータスを「確定」以上に設定して下さい。

(2) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー (製品名称 受注名称)」

製品マスターの製品名称フィールドのプロパティを受注情報リストの受注名称
フィールドのプロパティへコピーします。

(3) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー (製品名称 オーダー名称)」

製品マスターの製品名称フィールドのプロパティをオーダーリストのオーダー名称
フィールドのプロパティへコピーします。

(4) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー (中間体名称 シリーズ名称)」

中間体マスターの中間体名称フィールドのプロパティをシリーズリストの
シリーズ名称フィールドのプロパティへコピーします。

(5) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー (中間体名称 ロット名称)」

中間体マスターの中間体名称フィールドのプロパティをロットリストの
ロット名称フィールドのプロパティへコピーします。

Ver11.298 Ver11.308 (H14.8.8)

(追加・改良)

(1) 「ユーティリティ - その他 - プロテクトキーの確認」コマンドの追加

コンピュータに装着されているプロテクトキー番号を表示します。

(2) 「スケジューリング - 割付評価表示」コマンドの情報追加

割付評価情報を追加しました。

(3) 複数設備割付機能の改良

FW の場合は現在よりも前詰で、BW の場合は現在よりも後詰で、

割付けられるように改良した。

Ver11.288 Ver11.298 (H14.8.2)

(追加・改良)

- (1) 「スケジューリング - 割付評価表示」コマンドの追加
スケジューリング割付評価情報を表示します。
- (2) ダイナミックディスパッチングの探索ルール改良
- (3) ダイナミックディスパッチング機能の高速化
- (4) TOC 自動解析機能 (特殊割付機能) の高速化

Ver11.260 Ver11.288 (H14.7.23)

(追加・改良)

- (1) 「出荷計画 - オーダー作成」の際に分割オーダーとなる場合に等分割の対応ができるようになった。製品マスターの「オーダー生成最大数量」フィールドへ分割回数をマイナス表示で設定して下さい。マイナス表示の場合は、それを等分割の回数と見なし、等分割を行います。
- (2) 「下位データ連動リスト作成」の際に分割オーダーとなる場合に等分割の対応ができるようになった。製品マスターの「オーダー生成最大数量」フィールドへ分割回数をマイナス表示で設定して下さい。マイナス表示の場合は、それを等分割の回数と見なし、等分割を行います。
使用するには、生産計画・製品在庫管理機能オプションが必要です。
- (3) 設備マスターの「設備タイプ」フィールドの「同時2」のスケジューリング化
「同時2」を選択した場合は、動的ロット分割は行いません。動的ロット分割をしたくない場合は、こちらを選択して下さい。
- (4) 「重みの設定」ダイアログボックスの各種「重み」の設定の最大値を 100 から 10000 に変更した。
- (5) 「ダイナミックディスパッチングの設定」ダイアログボックスの各種「重み」の設定の最大値を 100 から 10000 に変更した。
- (6) 「ダイナミック生産パターン選択の設定」ダイアログボックスの各種「重み」の設定の最大値を 100 から 10000 に変更した。
- (7) マクロコマンド「MRP_PAST_SAMPLING」を追加
書式：MRP_PAST_SAMPLING <省略可：引数(日時)>
「ユーティリティ - MRP - 過去発注データ抽出」コマンドを実行します。
- (8) マクロコマンド「MRP_PAST_RECAL」を追加
書式：MRP_PAST_RECAL <省略可：引数(日時)>
「ユーティリティ - MRP - 過去発注データの発注日再計算...」コマンドを実行します。

Ver11.251 Ver11.260 (H14.7.15)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - 初期設定」の「バリデーションタブ」操作を Light、Basic でも

可能にした。未装備のオプションを選択してスケジューリングした場合、エラーor機能しません。

- (2) 設備マスターへ代替稼動パターンフィールド(テーブル型)を追加
しばらくの間、データを設定しないで下さい。
後日詳細な資料をお送り致します。
- (3) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「グループ抽出」の追加
選択した個別管理リソースと同じグループに所属する個別管理リソースを抽出します。
- (4) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「抽出...」の追加
個別管理リソースマスターのレコード抽出ダイアログボックスを利用して任意の個別管理リソースを抽出します。
- (5) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「非表示」の追加
選択した個別管理リソースを非表示にします。
- (6) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「全表示」の追加
抽出コマンド等により、非表示になった個別管理リソースを含めて全個別管理リソースを表示します。
- (7) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「移動」ポップアップメニューの追加
- (8) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「移動 - 最上位行へ移動」の追加
選択した個別管理リソースの表示を最上位行へ移動します。
- (9) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「移動 - 1 行上へ移動」の追加
選択した個別管理リソースの表示を 1 行上へ移動します。
- (10) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「移動 - 1 行下へ移動」の追加
選択した個別管理リソースの表示を 1 行下へ移動します。
- (11) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ以下のメニューを追加
「移動 - 最下位行へ移動」の追加
選択した個別管理リソースの表示を最下位行へ移動します。

Ver11.235 Ver11.251 (H14.7.1)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他 - 時系列最低在庫フィールド更新...」コマンドの追加
製品マスターの時系列最低在庫フィールドの過去日付のレコードを
設定日付に調整・更新します。
設定日付よりも過去のものは基本的に削除し、過去のものがあり、且つ、設定日付

と同じ日付のものがない場合は、日付が設定日付で数量を直近の過去のものか、直近の未来のものどちらか、少ない方の数量を設定したものを先頭に追加します。

(2) 初期設定、「その他 6」タブへ以下を追加

「オーダー作成自動生成オーダーの納期をまとめ期間先頭日付とする」

まとめルールを設定している場合で、且つ、オーダー作成自動生成オーダーの納期を使用直前に設定したい場合は、「No」にしてください。

現状までは、「Yes」に設定されている状態です。デフォルトを「No」に設定。

(3) 工程名称マスターの「次ロット開始遅れ単位」の設定が複数設備割付機能併用時でも動作するようにした。

Ver11.218 Ver11.235 (H14.6.24)

(追加・改良)

(1) バリデーション強化 (レベル 2 対応)

切替の特殊のテーブル中の不整合データをチェックを強化した。

(2) 「ユーティリティ - MRP - 過去発注オーダーの抽出...」コマンドの追加

過去発注のオーダーを抽出をします。

(3) 「ユーティリティ - MRP - 過去発注オーダーの発注日再計算...」コマンドの追加

過去発注のオーダーの発注日付を現在日付に変更します。

Ver11.203 Ver11.218 (H14.6.14)

(追加・改良)

(1) 初期設定、「その他 6」タブへ以下を追加

「シリーズ先頭ロット実績入力&シリーズ固定時、未確定ロットを再スケジューリング対象とする」

「Yes」の場合は、シリーズ先頭ロットに実績が入力されていて、且つ、シリーズ固定の場合でも、未確定ロットは、スケジューリング対象となります。

(固定を無視して実績に対応して再スケジューリングされます。)

「No」の場合は、未確定ロットは、固定状態のまま割付られます。

現状までは、「Yes」に設定されている状態です。デフォルトを「Yes」に設定。

(2) テーブルウィンドウの編集メニューへ「抽出レコード数の表示」コマンドを追加

納期遅れ抽出等のコマンドにより、抽出表示されているレコード数を表示します。

(3) ダイナミックディスペッチングの重みへ「生産可能設備数の重み」(一般タブ)を追加

重みが大きいほど、生産可能設備数が少ない設備を優先して割付を行います。

Ver11.181 Ver11.203 (H14.6.6)

(追加・改良)

(1) 初期設定に「その他 6」タブを追加

(2) 初期設定、「その他 6」タブへ「MRP 発注データは、前日納品とする」を追加

MRP 発注データを当日納品にしたい場合は、「No」に設定して下さい。

現状までは、「Yes」に設定されている状態です。デフォルトを「No」に設定。

- (3) 初期設定、「その他 6」タブへ以下を追加
 - 「下位データ連動自動生成オーダーの納期をまとめ期間先頭日付とする」
 - まとめルールを設定している場合で、且つ、下位データ連動自動生成オーダーの納期を使用直前に設定したい場合は、「No」にして下さい。
 - 現状までは、「Yes」に設定されている状態です。デフォルトを「No」に設定。
- (4) 初期設定、「その他 6」タブへ以下を追加
 - 「MRP 発注データは、まとめ期間先頭日付納品とする」
 - まとめルールを設定している場合で、且つ、MRP 発注データを使用直前に納品したい場合は、「No」にして下さい。
 - 現状までは、「Yes」に設定されている状態です。デフォルトを「No」に設定。

Ver11.171 Ver11.181 (H14.5.31)

(追加・改良)

- (1) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
 - %STF 前切替時間
 - %STP 生産時間
 - %STB 後切替時間
- (2) Monitor から各種ガントチャート、ヒストグラム、各種グラフの印刷を可能にした。
ただし、本体側へオプションが搭載されていない場合は、印刷できません。
- (3) 本体側に生産計画・製品在庫管理機能オプションがある Monitor の場合、
受注情報リストの表示・印刷を可能にした。
Monitor 側から納期確認が行えるようになった。
- (4) 設備マスターの「設備タイプ」選択フィールドの選択肢を変更
変更前：「空白」、「同時」
変更後：「空白」、「同時 1」、「同時 2」
現在の「同時」は、「同時 1」となります。
将来のバージョンアップ用です。
しばらくの間、「同時 2」は選択しないで下さい。後日、詳細資料をお送り致します。

Ver11.158 Ver11.171 (H14.5.23)

(追加・改良)

- (1) テーブルウィンドウの編集メニューへ以下を追加
 - 「バリデーションエラーレコード抽出」
 - バリデーションエラーがあるレコードを抽出します。
- (2) テーブルウィンドウの編集メニューへ以下を追加
 - 「リンク先テーブル表示」
 - リンク先テーブルを表示し、リンク先レコードを最上位行に設定します。
- (3) テーブルウィンドウの編集メニューへ以下を追加
 - 「レコードジャンプ...」
 - 指定した行数へジャンプします。

Ver11.041 Ver11.158 (H14.5.20)

(追加・改良)

- (1) 工程名称マスターへ「次ロット開始遅れ単位」フィールド(正数)を追加
使用法等は、チュートリアルを参照して下さい。
(「優先順位 M」フィールドの前に挿入しました。)
- (2) 初期設定の「その他 5」タブへ以下を追加
「特殊割付の場合でも遅れ日数の計算は、工場カレンダーを使用する」
「Yes」を選択すると特殊割付で遅れ日数の計算は、工場カレンダーを使用し、
休日分は遅れ日数としてカウントしません。特殊割付で休日を跨げます。
現状は、「No」が選択されている状態です。
この機能は、遅れ日数の場合のみです。遅れ時間は現状通り 24 時間カレンダーを
使用します。

Ver11.032 Ver11.041 (H14.5.14)

(追加・改良)

- (1) 割付設備選択の重み「納期遅れ最小化」の FW の場合の重み
計算処理を変更した。
現状：納期遅れしていないものでも、できる限り早く仕上がるものが優先
新規：納期遅れしていない場合は、同等として計算する。
- (2) 割付設備選択の重みへ「最早終了・最遅開始の重み」を追加
FW の場合は、重みが大きいほど早く終了したものを選択します。
BW の場合は、重みが大きいほど遅く開始したものを選択します。
- (3) ダイナミックディスパッチングの重み「納期遅れ最小化」の重み計算処理を変更。
現状：納期に対して割付余裕がないものを優先
新規：納期遅れしていないものは、同等として計算する。
- (4) ダイナミックディスパッチングの重みへ「クリティカルパスの重み」を追加
割付に余裕がないものを優先します
- (5) 「生産計画 - オーダー - オーダーの割付方向設定...」コマンドの追加
オーダーの割付方向の設定を行います。
- (6) マクロコマンド「ORDER_DIRECTION_SET」を追加
「生産計画 - オーダー - オーダーの割付方向設定...」コマンドを実行します。
書式：ORDER_DIRECTION_SET 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4
引数 1：「0」or「1」を指定します。(「0」：抽出オーダー、「1」：全オーダー)
引数 2：「0」or「1」を指定します。(「0」：実績オーダー対象、「1」：実績オーダー対象外)
引数 3：「0」or「1」を指定します。(「0」：固定オーダー対象、「1」：固定オーダー対象外)
引数 4：「0」～「2」を指定します。(「0」：FW、「1」：BW、「2」：クリア)

Ver11.018 Ver11.032 (H14.5.9)

(追加・改良)

- (1) レイアウト登録ダイアログボックスに「上書き」ボタンを追加
「上書き」ボタンでレイアウトの上書きが可能となりました。
- (2) 「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 期間確定...」の
ダイアログボックスを変更し、抽出レコードのみを対象とすることを可能にした。
- (3) 「資源計画 - 原材料在庫 - 原材料在庫引当てリスト - 期間未確定...」の
ダイアログボックスを変更し、抽出レコードのみを対象とすることを可能にした。
- (4) マクロコマンド「MAT_ASSIGN_STATUS_DUR_DECISION」の書式変更
書式：MAT_ASSIGN_STATUS_DUR_DECISION *1
*1 <省略可：引数 1 <省略可：引数 2>>
引数 1：日時 引数 2：(「0」：全レコード、「1」：抽出レコード)
引数 2 を省略した場合は、「0」が選択されたものと判断します。
- (5) マクロコマンド「MAT_ASSIGN_STATUS_DUR_NOT_DECISION」の書式変更
書式：MAT_ASSIGN_STATUS_DUR_NOT_DECISION *2
*2 <省略可：引数 1 <省略可：引数 2>>
引数 1：日時 引数 2：(「0」：全レコード、「1」：抽出レコード)
引数 2 を省略した場合は、「0」が選択されたものと判断します。

Ver11.008 Ver11.018 (H14.4.24)

(追加・改良)

- (1) ダイナミック生産パターンの重み「納期遅れ最小化」の FW の場合の重み
計算処理を変更した。
現状：納期遅れしないものでも、できる限り早く仕上がるものが優先
新規：納期遅れしないものは、同等として計算する。
- (2) ダイナミック生産パターンの重みへ「最早終了・最遅開始の重み」を追加
FW の場合は、重みが大きいほど早く終了したものを選択します。
BW の場合は、重みが大きいほど遅く開始したものを選択します。
- (3) ダイナミック生産パターンの重み「最小化」タブの「外注依存度最小化」について
マイナスを許すようにした。マイナスを設定した場合は、出来る限り外注を行う
生産パターンを選択します。

Ver11.0 Ver11.008 (H14.4.17)

(追加・改良)

- (1) 以下のマクロの記述変更
(変更前) FIX_PATTERN_BYORDER_DUE_DATE
(変更後) FIX_PATTERN_BY_ORDER_DUE_DATE
- (2) 以下のマクロの記述変更
(変更前) RELEASE_PATTERN_BYORDER_DUE_DATE
(変更後) RELEASE_PATTERN_BY_ORDER_DUE_DATE
- (3) シミュレーションコピーで以下のリストをコピーデータの対象に加えた
個別管理リソースジョブ割りリスト

- (4) シミュレーションコピーダイアログの以下のチェックボタンの名称を変更
 - (変更前) 計画データ
 - (変更後) 計画 / データ連動 / MRP データ
- (5) シミュレーションコピーで「計画 / データ連動 / MRP データ」チェックボタンがチェックされている場合、以下のリストもコピー対象とすることとした。
上位データ連動リスト、下位データ連動リスト、下位データ連動引当て予定リスト、MRP リスト、MRP 引当て予定リスト

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)